

歓迎

RMO サービス代表 山川克則

ようこそ、オリエンテーリングフェスティバル長野菅平大会へ。

1995年11月に菅平高原で第17回長野県オリエンテーリング大会を開催した時作成したPCマップの更新が予定されていた本年、それなら同時に大きなイベントを誘致しようという地元の熱意に打たれ、クラブカップの開催と相成りました。そして、菅平地区で唯一大会を開催していないオオマツ・つばくる地区でも併設の大会を開催し、オリエンテーリングフェスティバル長野2日間大会として開催します。

それにしてもこちらの予想を大きく上回る参加申し込みをいただき、うれしい悲鳴をあげております。本当にありがたく思います。国内のあらゆる大会が参加者減少に悩むなか、この大会だけが毎年参加者を増やしている状況があり、本大会の意義が評価されていることに感謝し、決心をして始めたことを誇らしく思うとともに、継続して開催して行くことの責任をヒシヒシと感じる次第です。

さて本年よりかねてからの目標であった7人による（ベテランは4人）レースとなりました。エントリー状況を見ると、一部のクラブにはハードルの高い障害であったかもしれませんが、しかし、これを越えたところに生涯スポーツとしてのオリエンテーリングの醍醐味があるものと信じています。まだまだ私の追求は終わりではありません。さらなるビッグ企画を温めているところです。

さて、3人もの制限選手が走り、しかもより厳しい5・6走制限をもつともせず最初に7人リレーの栄冠に輝くのはどのクラブでしょうか。また、トップレベルだけでなくそれぞれの目標があり、ライバルクラブとの戦いがあります。大会当日がとても楽しみでたまりません。たぶん参加する多くの皆さんが私と同じ気持ちを抱いていることでしょう。

最後に、この大会の開催にあたって、多方面の方々から絶大なご協力をいただいております。改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。そしてよろしく願いいたします。

本大会の特徴・注意

Events
Special Notes

ここでは他のオリエンテーリング大会と比較して本大会の特徴を列記します。なお詳しい説明は競技説明その他を熟読して下さい。

青空会場

今回のイベントでは全日程とも大会会場には体育館の様な場所はありません。いわゆる青空会場です。そのため、テントの持参をお薦めします。

ただし、テント設営は競技中のみとしてください。菅平高原内では宿泊を伴うテント設営はキャンプ場以外は禁止されています。

会場火気厳禁

第22回長野県大会、第7回クラブカップともに会場はスキー場です。会場ではタバコ、コンロなどの火気の使用は厳禁とします。

両日とも会場付近にお店はありません

昼食を競技会場付近でとる場合は、各自で予めご用意ください。

ゴミは持ち帰り

大会会場に特にゴミ箱は用意しません。ゴミは持ち帰って下さい。

個人の責任で参加してください

参加者が本人または第三者に与えた損害・損失について主催者・主管者は責任を負いません。

大きな怪我をした時

大会会場となる菅平高原地区に病院はありません。救急車もいません。大きな怪我をした場合、上田市か長野市まで車で輸送することになります。いずれも車で30分以上かかります。頭にいれておいて下さい。

スポーツ障害保険に加入しています。大会中に事故、怪我がありましたら大会本部にご連絡下さい。また保険証を持参して下さい。

荒天による中止について

この時期は台風などによる荒天が予想されます。荒天時、競技は中止します。大会当日中止かどうかは問合わせ先までお問い合わせください。

鈴蘭館 0268-74-2079（役員宿所）

基本的に、気象庁より長野県中部または北部に気象上の警報が出された時、大会は中止とします。

中止した競技の順延はありません。また競技が中止になった場合

でも参加費の返却は行いません。

大会前のテレインへの立入制限

大会前、テレインにフラッグの設置などを行うため、競技者および関係者のテレインへの立ち入りを禁止します。対象地域は表紙の菅平付近の図に示す範囲で、宿泊施設へのアクセス道路は対象外です。立入禁止期間は1999年9月23日-競技終了までとします。菅平高原の観光スポットとして有名な「シュナイダーの丘」は立入禁止地区となります。ご注意ください。

会場での地図参照について

両日ともにトップスタート時刻まで、菅平地区の地図を会場内で参照することを許可します。競技開始時刻からは主催者の指示があるまでは地図の参照はご遠慮ください。

より精密になった新地図

本大会の地図は1995年作成の0-map「信州菅平高原」のリメイクです。しかし、今回は調査にGPS（全球測位システム）を投入し、さらに精鋭メンバーによる地図調査にて精度を格段に引き上げています。

第22回長野県大会はE-card導入

第22回長野県大会はABクラスではE-card（電子パンチカード）を使用します。ただ、現在利用できるE-card枚数が参加人数に比較して少ないため、1枚のカードを何人かで使いまわします。このため第22回長野県大会はスタートを長時間にわたって行います。E-card再使用のため、ゴールした方は速やかにE-cardを返却してください。

両日とも託児所を用意

大会両日とも託児所を用意します。託児所利用希望の方は申込の際に連絡をいただいています。急遽利用するようになった場合、できるだけ早目に連絡先にお知らせください。

また、託児所には特におもちゃ類は用意しませんので、必要なおもちゃ類はご用意ください。このときは所有者名を記入してください。おもちゃなどの紛失については、主催者側では責任を持ちません。